

84点

近代 文学史

に銘記されるべき

『小説伊勢物語 業平』

——高樹のふ子

中盤以後、作者が業平の人生に存分に立ち入り始めると、『伊勢物語』の外へと時間が溢れ始め、そこに時代の声が聞こえ、「昔男」の確かな生の軌跡が見えてくる。名匠の手になる丁寧な傑作と称してよい。

現役作家 100 人、主要 505 作品を
〈厳正〉かつ〈徹底的〉に採点！

作家の値うち スーパー 令和の超ブックガイド

小川榮太郎 著 飛鳥新社

